

【開講日】令和5年4月12日（水）

文学

0501012

# 芭蕉の『奥の細道』を通して読んでみよう

受講料 (振込額)	7,500円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	水曜日		日程	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全3回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学非常勤講師 永田 英理 (ながた えり)				
	武蔵野大学・白百合女子大学非常勤講師。早稲田大学大学院博士後期課程修了。博士(学術)。専門は俳文学で、松尾芭蕉の俳諧や俳論を研究している。 著書は『蕉風俳論の付合文芸史的研究』(ぺりかん社、2007年)、共著に佐藤勝明・永田英理・玉城司『元禄名家句集略注 椎本才麿篇』(新典社、2021年)など。				
内容	『奥の細道』は、日本古典のなかでもとくに有名な、現代においても人気の高い芭蕉の紀行文です。元禄2年(1689)に深川を出発し、日光・奥州・出羽・北陸路を行き、岐阜の大垣で結ばれた芭蕉の5ヶ月の旅は、その数年後に、何度も何度も推敲が重ねられて『奥の細道』という作品になりました。歌枕(昔の和歌で詠まれた名所)や旧跡を巡り、西行や義経ら歴史上の人物たちと魂を通わせながら辿る芭蕉の旅路は、時空を超えた旅でもあるといつてよいでしょう。じつは『奥の細道』には、全編を通して読んでゆくことによって初めて見えてくる面白さもあるのです。最新の研究成果をふまえながら、芭蕉の旅を一緒に味わってみませんか。				
	参考図書:『新版 おくのほそ道』角川ソフィア文庫 額原退蔵・尾形 侑 836円(税込み)				
	① 4月12日:芭蕉と『奥の細道』 ② 5月17日:『奥の細道』の成立について ③ 6月7日:『奥の細道』の冒頭を読んでみよう				

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

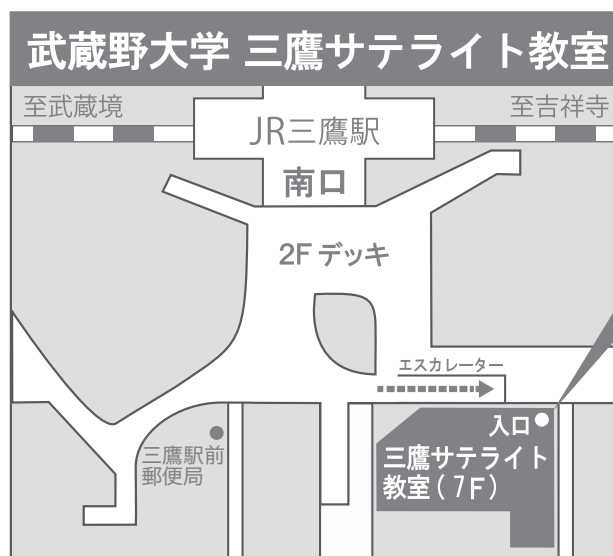


武蔵野大学社会響創センター  
〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20  
TEL: 042-468-3222  
月～金(祝祭日除く)9:30～16:30  
エルエルエス  
<http://lls.musashino-u.ac.jp/>

武蔵野大学 生涯学習

検索

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013  
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。

《徹底のお願い》

☆マスクは清潔な不織布で、鼻口を覆ってください。